

## 偕行会Gが2年連続受賞

### アジア医療誌のアワード

医療法人偕行会グループ（本部名古屋市中）は27日、アジアの医療誌「ヘルスケア・アジア誌」主催の「ヘルスケア・アジア・アワード2026」で、「日本における年間最優秀メディカルツーリズム病院部門賞」を受賞したと発表した。外国人患者の受け入れや旅行透析の受け入れ体制などが評価された。

ヘルスケア・アジア・ア



授賞式の様子

ワードは、従来の枠を超えた医療サービスを提供し、地域社会に長く影響を与えるアジアの病院を表彰する賞。偕行会グループの受賞は2年連続になる。26日にシンガポールで授賞式が行われた。

授賞式で、偕行会の川原真専務理事は「患者さんの日本で治療を受けたいという願いが原動力になっている。今後も医療ツーリズムのフロントランナーとして期待を超えるサービスを創造していきたい」と話した。

偕行会グループは、外国人患者の受け入れを行っており、病院内の掲示物や案内表示の外国語表記、専用診療フロアの設置、5言語に対応できる通訳など、体制を整備してきた。昨年8月には料亭やホテルと連携し、旅行透析プランを開始。透析治療と管理栄養士監修の減塩会席料理、宿泊を一つのパッケージで提供している。

